

春日野

発行 第3号
いにしえの里「春日野」
広 業 部 会

産業観光部会

文化福祉部会

なつかしい味を再現

八月六日（土）午前九時から和仁西公民館で里の味と匠の技発掘調査事業 第一回実演会がありました。

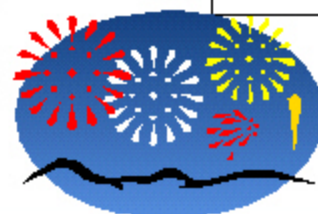
今回は里の味に絞り、和仁地区の奥様方から昔ながらのなつかしい四品を作っていたいただきました。

右・小山節子さん
中・小山美佐子さん
左・小山博子さん



- 【実演品目】
- ①鬼の手こぶし・・・五月五日の子供の節句のときに、チマキの代わりに出されていた。赤飯を竹の子の皮で包み蒸したものだ。
 - ②鬼の手棒・・・鬼の手こぶし同様子供節句のときにチマキの代わりに出されていた。小麦粉の団子を竹の子の皮で包み蒸したものだ。
 - ③田植えダゴ・・・田植え時、作業の合間に出されていたお茶請けの一種。平べったい小麦粉団子をあんこで和えたもの。別名：ペロダゴとも呼ばれている。
 - ④キャー餅・・・きゃー作ろかね〜とって作られていた為、キャー餅？蒸したサツマイモと餅の和えもの。砂糖が高価だった頃はサッカリンやミツゲンを使っていた。

この他にも、にがごりのメカブ和え・くぎにらの酢味噌和え・トイモとシソとミョウガの酢の物・ソーメンウリとモーイ（沖縄のきゅうり）の酢の物・地生えきゅうりの冷汁といった暑い夏にぴったりな料理が振舞われました。



和仁 夏まつり



七月十七日（日）、春富小学校運動場で第五回目の和仁夏祭りが行われました。

昨年まで、和仁地区の若手の有志が実施してきた夏祭りを、今年度より、里づくり協議会（いにしえの里「春日野」）との協同により実施いたしました。

また、春富小学校運動場での開催が今回が初めてで、手探り状態からの企画立ち上げとなりました。

しかし、当日は開催場所が春富校区の中心部とあって、和仁地区以外の方々も多数ご来場いただき、大変な賑わいとなり、盛会のうちに終了することが出来ました。

環境部会

花いっぱい運動



和仁全体がひまわりに囲まれた！

種とり方

花が終わる、中心部分が盛り上がり、下向きに首が垂れるようになったら、茎ごと花部分を切り取ります。十分乾燥したら種を採ります。涼しくて暗いところにお願いいたします。



広報誌「春日野第二号」でお伝えしたとおり、環境部会の部員である仲田敬博さんの畑に、ひまわりの種を育てました。

五月二十一日に和仁地区の全世帯に配布した苗は、皆様の丹精込めとお話のお陰で、立派なひまわりが和仁地区一円に咲き誇りました。

環境部会では、夏を代表する花・太陽のようない花「ひまわり」を見て、和仁地区を「ひまわり」に見え、心癒される花が咲き終わったらその種をとり、また来年たくさんひまわりを咲かせたい。